

# 巻頭言

## 働く人から暮らす人まで、誰もが自分らしい 100年を生きるライフソリューション

100-year Solutions that Allow People to Work and Live as They Wish



鈴木 聡 So Suzuki

常務執行役 リビング・デジタルメディア事業本部長

Executive Officer, Group President, Living Environment & Digital Media Equipment

2020年は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミックによって、世界各国で緊急事態宣言の発出、ロックダウン、経済活動の停止など、過去に類を見ない事態が発生しました。これに伴い、私たちの暮らしも大きく変化してきています。家庭では外出自粛やテレワークが本格化する中で家の中で過ごす時間が長くなり、家事や育児の負担が増加しています。オフィスや店舗などの商用空間ではフィジカルディスタンスの確保と働き方改革を考慮した、安全で快適な新たな空間価値が求められています。

一方、地球温暖化、貧困、エネルギー、ジェンダー、高齢化社会問題等、地球規模の社会課題も深刻化しています。国連は持続可能な開発のために必要不可欠な、新たな行動指針としてSDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)を策定し、2030年までに、誰一人残さない持続可能でより良い社会の実現を目指す世界共通の目標を立てています。この目標は各国政府による取り組みだけでなく、我々企業にも社会課題解決に向けた長期的な取り組みが求められています。

このような中、三菱電機は2021年2月1日に創立100周年を迎えました。この100年間で培った技術と、顧客と築き上げてきた事業基盤をベースに、短期的・中長期的な社会課題の解決と変化し続けていく世の中への対応に取り組んでまいります。

### ライフソリューションの展開

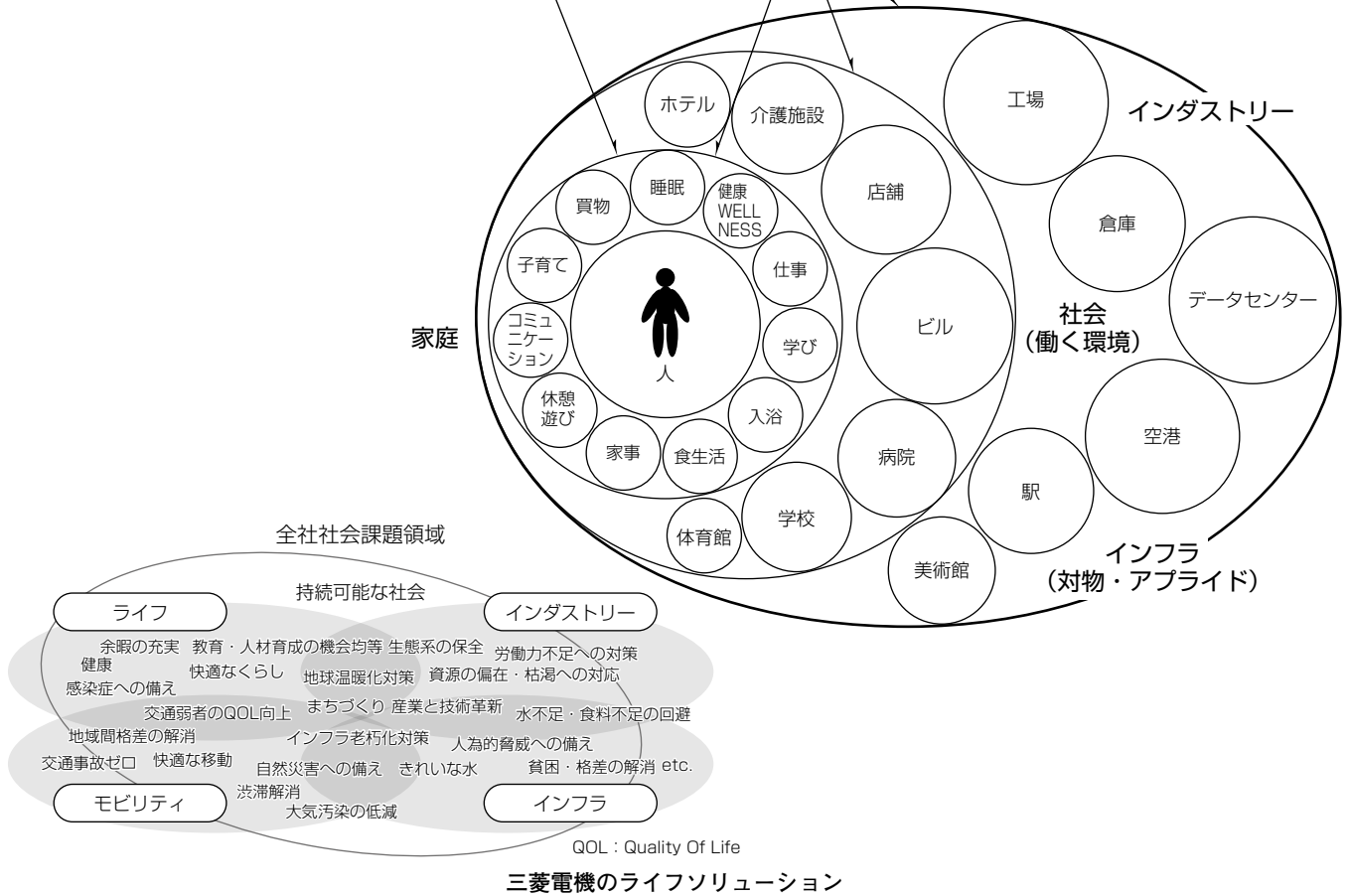
今回の特集号テーマである“つながる技術で快適を創るライフソリューション”は、今後、私たちが顧客に提供していく新たな価値観になります。リビング・デジタルメディア事業本部はユーザー一人一人の暮らしを取り巻く個々の生活シーンと家庭から社会・インフラ・インダストリー

までの様々な空間環境を対象に、従来の機種単独の価値にIoT(Internet of Things)・クラウド基盤を加えて、様々なユーザーと空間用途に最適化されたライフソリューションを展開しています。ライフソリューション領域は“最適環境IEQ(Indoor Environment Quality)ソリューション”“生活支援ソリューション”“安心・見守りソリューション”の三つの価値カテゴリーに加えて、“サステナビリティソリューション”によって、脱炭素社会の実現と製品のライフサイクルを通じた顧客のサポートに取り組んでいます。今回の特集ではこれらリビング・デジタルメディア事業本部のライフソリューションの基盤になっている製品ソリューションと技術についてご紹介します。

“最適環境IEQソリューション”は空調・換気・空清・給湯・照明等の機器連携とIoT基盤・AI・制御技術によって、コロナ禍で世界中から求められている“健康的で快適な空間環境”の提供を目的にしています。家庭やオフィスだけでなく、工場や冷凍冷蔵倉庫、データセンター等のインフラ設備にもその用途に最適化した空間環境を提案し、“質の高い空間環境”と“高い省エネルギー性”を両立させています。パッケージエアコンは、“別置ムーブアイコンコントロールユニット”の赤外線センサを活用して床温度や人数に合わせて空調・換気を自動制御し、省エネルギー性を高めながら快適な室内環境を実現します。また、学校用の全熱交換形換気機器“ロスナイ”にはCO<sub>2</sub>センサを搭載し、CO<sub>2</sub>濃度の状態をLEDランプで表示する“換気の見える化”を行っています。店舗・オフィスなどの商用空間向けの新型三菱ハンドドライヤー“ジェットタオル”は“ヘルスエアー機能”を搭載した循環ファンを内蔵し、空気を24時間循環清浄することで、安心な空気質を提供します。

一方、共働き世帯と単身高齢者の増加や、コロナ禍で新

ユーザーの暮らしを取り巻く  
個々の生活シーン × 家庭から社会までの  
様々な空間環境 = 当社のライフソリューション



たに始まった生活様式の中で顕在化してきた課題を新たなサービスで解決していく“生活支援ソリューション”を展開しています。特に食生活に関しては在宅時間増加による家事時間の短縮と家事シェアのニーズに対応しながらも、ユーザーが自分らしく健康で豊かな食生活を楽しめるように注力しています。IoT冷蔵庫“MXDシリーズ”は、保存食材の保管ニーズ増加と家事シェアニーズに対して、家庭ごとの使い方を学習して制御を行う“全室独立おまかせA.I.”技術によって、食材のおいしい保存を実現します。さらに、買物から調理までをサポートする“つながるアプリ”によって、家事に慣れてない家族も使いやすい冷蔵庫を提供します。また、IH(Induction Heating)ジャー炊飯器“NJ-AWBX10”はAmazon社のAmazon Dash Replenishment<sup>(注1)</sup>と連携して米の消費量に合わせた自動再発注を行い、忙しい子育て世代をサポートしています。

このような取組みを皮切りに将来的には家庭内の様々な家電を互いに連携させ、さらに社外パートナーとの共創による付加価値の創出に取り組んでまいります。

### 次の100年に向けて変革を継続

働く人から暮らす人まで、誰もが自分らしく生活していくために総合的なライフソリューションをしっかりと提案し、社会に貢献できるモノ・コトを含めた新たな事業戦略を展開してまいります。一人一人が自分らしい100年の人生を過ごすために、私たちができることは何だろうと常に問いかけながら、次の100年に向けて、私たちは変革し続けていきます。

(注1) Amazon, Dash及びこれらに関連するすべての商標は、Amazon.com, Inc.又はその関連会社の商標です。